

第1回「無事ですタオル」防災訓練 実施報告書

新宿二丁目自治会
防犯防災部 平林 真一

●経緯・目的

災害発生時に住民の安否確認をより円滑に行うこと、地域をより安全な場所にするため、「無事ですタオル」を用いた実地訓練を行った。

●方法:

実施日: 2024年9月1日(日)防災の日 午前9:00～12:00

依頼内容(回覧板)

1. 大きな災害発生時※には「無事ですタオル」を自宅の外に掲示してください。
掲示方法は裏面に記載します。
※震度5以上の地震や台風・洪水などで新宿二丁目地区に「避難勧告」が出ている時。
2. 被災時に直ぐに示す事が出来るよう自宅に保管して下さい。
3. 年に1度、防災の日(本年は9月1日 日曜日)に掲示訓練を致します(終日掲示)。
4. 回覧板または自治会のウェブサイト上に公開するアンケートにご回答下さい。

- 掲示方法: 各戸のお届けしてある黄色のタオルを道路に面した目立つところに掲げた。
個々の掲示場所や方法は、会員の自由とした。
- タオル配布: 事前に自治会会員には配布済み。総数約800枚。
- アンケート: 回覧板、およびweb上のアンケートフォームで各戸の回答を得た。
- 確認方法: 自治会防犯・防災部員4名で11:00～12:00の間、月に2回、防犯パトロールで回っているルートで地区内を周り、掲示されているタオルの数をカウントした。併せて調査しやすさ、調査にかかる時間等をチェックした。

○タオルの掲示方法

●マンションの場合

① ドアノブに結びつける



② ベランダに掲示する



※通りに面したベランダ側など、外から視認できる位置に掲げてください。

●一戸建の場合

① ハンガーで玄関の前に掛ける



② ドアノブに結びつける



③ 門扉などに結び付ける



※風で飛ばされないよう、洗濯ばさみなどで固定してください。 [アンケート回答サイト](#)

ご不明な点、ご質問や意見がありましたら、気軽にお問い合わせください。

●結果:

- 確認数: 25／800枚



- アンケート結果: (取得中)

●考察

災害発生時に住民の安否確認をより円滑に行うこと、地域をより安全な場所にするため、「無事ですタオル」は効果があると思われるが、**一戸建て住宅では視認しやすかったものの、集合住宅では掲示方法や場所を統一する必要**(オートロックがあり侵入出来ない・掲載場所の制限等)がある。

新宿二丁目町内は90%以上がマンション住民という統計もあり、自治会員以外の防災意識も高めながら、被災救済のためには地域一体となった改善が望まれる。

●参考:

この訓練のアンケート結果は市への報告により補助金の対象となり、地区内のさらなる防犯・防災活動の資金として活用させていただきます。

自治会独自の防犯・防災活動状況については「新宿二丁目自治会公式LINE 防犯防災情報」で逐次紹介しています。※次頁下段にQRコードを掲載、8月度回覧板で共有します。

○参考事例 レーベンハイム西千葉 防災会

密、接触なし、ユニークな訓練に 住民の約7割が参加

防火防災訓練の案内

災害が起きたとき、公助を待つだけでは心もとありません。
自助・共助での対応を日頃から訓練し、有事に備えましょう。
多くの皆様のご参加・ご協力をお願い致します。

日時: 令和3年9月5日(日) 10:00～11:30 (予定)

場所: 今年は(自宅)

10:00～ シェイクアウト訓練

○全館放送

○3つの安全行動を、1分間実施ください。⇒



DROP!



COVER!



HOLD ON!

訓練日時にご不在のお宅は、
事前に玄関に貼ってください。

10:01～ 避難訓練

○玄関に「無事です」カード
を貼り、避難経路を確認してください。⇒

○「無事です」カードが貼ってあるか、確認します。
11:30までは、貼ったままにしておいてください。

『コロナ禍、今回は集まつの訓練はありません』

このカードが無いご家庭は、
申し出てください。

無事 です

10:10～11:30 安否確認訓練「無事です」カード確認

※班長、防災会役員が、各戸の「無事です」カードを確認し、出されていないご家庭では、
安否確認訓練としてインターフォンより呼び出しさせていただきます。

○「消火器の使い方」と「AEDを用いた救命処置の流れ」および「停電時の水の確保」について
裏面をご参照ください。また「避難経路」と「避難はしご」の位置は各戸の平面図を確認ください。

レーベンハイム西千葉防災会

- ① 防火防災訓練の館内放送
- ② 自宅でシェイクアウト(安全確保)訓練
- ③ 玄関に「無事ですカード」貼り、避難経路確認
- ④ 安否確認(カード確認)

※カード掲示数173世帯(90%)、アンケート回答数155世帯(81%)、参加
人数の合計406名

カードを配り裏面に消火器やAEDの使い方、救命処置の流れ、停電時の水の確保などを解説
安否確認後にアンケートを実施し、参加者数に応じて市より150円の補助金が自治会に支払い。